

文楽 Bunraku News 応援団通信

文楽
応援団通信

第23号

2013. 7. 20.



うりこひめ
『瓜子姫とあまんじゃく』

文楽応援団ホームページ <http://bunrakuouendan.web.fc2.com/>

文楽応援団

検索

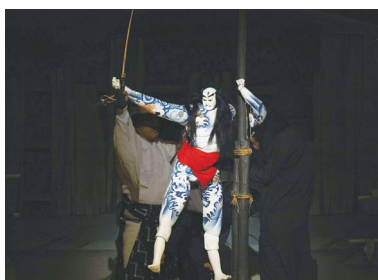


HP携帯
QRコードは
こちら

文楽応援団ツイッター <http://twitter.com/#!/bunrakuouendan>

文楽応援団の自己紹介

Issued by Bunraku Ouendan



なつまつりにわかがみ
『夏祭浪花鑑』

文楽応援団は文楽の普及・振興を目的とするボランティアのグループです

おもな活動内容は

- ①文楽公演のポスター・ちらしを配布
- ②文楽関係の展示品の解説
- ③観劇のグループに公演のあらすじや見どころ聞きどころを解説
- ④劇場外での普及活動(文楽の楽しみ方などを解説)等々です

この他、文楽に関する学習会や懇親会なども行います

〒542-0073 大阪府中央区日本橋1-12-10
国立文楽劇場 事業推進課 文楽応援団担当
TEL 06(6212)2531(代) FAX 06(6212)1202

『初代義太夫師を始めとする 墓石、石碑類の修復について』

文楽座因講

本年一月より行っており、竹本義太夫師の三百回忌記念行事のうち、四天王寺、超願寺の墓石修復事業につきまして、まずは皆様に厚く御礼を申し上げます。

皆様より多額の浄財の御寄付を賜わり、すべての石碑類を修復する目処が付き、現在修復に入っており、来たる八月二十八日には、竹本義太夫師の三百回忌の法要と、修復が済みました墓石石碑類の工事完了の記念行事を行うはこびとなりました。これもひとえに文楽ファンの皆様の多大なるご支援の賜物と一同心より感謝いたしております。尚、この法要及び記念行事はどなた様でもお参りいただけますので、皆様のご参列をお待ち申し上げております。

昨年七月十四日、「曲帯塚」が半壊したことから企画された墓石類の修復ですが、本年が丁度竹本義太夫師の三百回忌という節目の年だったため可能になったことと申します。これ何かの奇縁と申しますか、浄瑠璃界先師からの「お告げ」の様な不思議な物を感じます。

文楽を応援下さっているお客様のご厚志はもちろんのこと、文楽座技芸員も全員が主旨に賛同し、協力の上的の事業が推進できましたことがこの上のない喜びです。

住大夫師匠が「元祖の三百回忌」というこの時に、この仕事をしていて、こういう機会にめぐり合えるのは本当に幸せだ。」とおっしゃいました。が、私共の代でこの貴重な文化財とも言える浄瑠璃界の遺物を守り伝えるお手伝いできましたこと、誠に

有難いことと存じます。

実際に修復に取りかかってみますと、新しい様々な問題が浮上り参りました。それは石塔類の損傷が見た目以上に進行しており、現代の最新技術をもって修復をしなければならぬというところで、これは国の重要文化財等の修復の実績のある「さわの道玄」という業者に依頼し、現在考えられる最高の技術により修復することにいたしました。

又、石塔の解体過程で「豊竹筑前少掾夫妻宝塔」の内部より、同師夫妻直筆の法華経が出現するなど、それらの保存についても考えねばならぬという新たな問題が生じてきました。そのため覆屋を設けて石塔を風雨から守るなどの対策が必要となる事で、当初の修復見積もり金額をはるかに上回るお金が必要となりました。しかし、これは皆様より思ってもよらぬ多額のご寄付をいただいた事無きを得ることができました。

他にも超願寺の義太夫師の本墓も、他にも破損が激しいため、再建しお寺様に寄進するというところで話がまとまり、こちらも工事が進んでおります。又、谷町筋堀越神社付近にあり、竹本義太夫誕生の地「石塔」の再建のための寄付を受け、文楽協会の協力のもと再建作業に入っております。

この様に、義太夫関係のモニユメント、遺物のすべてが整備できましたことは誠に喜ばしく、これから皆様のご参拝やご訪問で、これらも末永く受け伝えて参ることができまじら、私共にとりましてこの上ない喜びでございます。

今後とも末永いご支援をお願いいたします。ご報告とさせていただきます。

豊竹呂勢大夫

やっぱり文楽はやめられない！ 其の十八

『南信州に人形浄瑠璃を訪ねる』

折井 亮夫

四月公演が開幕して一週間目の四月十三日、十四日信州飯田の黒田人形を観に行ってきた。飯田は中学・高校の六年間を過ごした思い出の地。早朝の地震に驚かされたの出発。Sさんとの道行きです。運転をすべてお任せ。今は高速道が通り便利になっているが、以前は、都の塵も通い来ぬ。と我母校飯田高校の校歌に唄われ、文化果つる地。の如く言われていたが、小京都と言われた飯田に都の文化が伝わっていた。

その昔長野県には人形芝居が三十一カ所あり、伊那谷には二十八ヶ所あったという。現在は飯田市下黒田諏訪神社の黒田人形、飯田市龍江大宮神社の今田人形、下伊那郡阿南町早稲田神社の早稲田人形、上伊那郡箕輪町古田神社の古田人形と四座が残っている。

黒田人形は元禄年間に始まり現在まで三百二十年余、芸が途切れずに伝承され、国指定有形文化財に指定されている。毎年四月第二土曜日、日曜日に諏訪神社の境内で春季禮祭奉納公演が行われる。

土曜日は宵祭、春とはいえ相当な寒さなので、翌日曜日の本祭昼公演を観劇。天保十一年（一八四〇年）に造られた昔のままの人形専用の立派な舞台での上演。客席はパイ椅子、ゴザと

いいうのんびりとした野舞台。甘酒、御神酒の振舞いもあり、遠方からの熱心な方も居る。

演じるのは黒田人形保存会の方々、地元高陵中学黒田人形部の生徒さん。保存会の方々には神社の隣の黒田人形伝承館という建物で毎週土曜日に稽古をしているという。

今年の演目は、先ず「寿式三番叟」、これは天明年間に淡路の吉田重三郎が伝えたもので、翁の一人舞。次に「奥州安達原」三段目「袖萩祭文」、そして地元高陵中学黒田人形部による「生写朝顔日記」「宿屋の段」。部員は二年生、三年生しか居ないが、その三年生は修学旅行中で、高校生となったOBや黒田人形部の応援を受けての熱演。制服での出遣い。クライマックスではおひねりが飛び交った。最後は「御所桜堀川夜討」「弁慶上使の段」なのだが、寒さと帰りの時間を考え残念ながら中座。

素朴ながらも庶民の娯楽が脈々と伝わっているのに感激しながら帰路についた。十一月には四座合同公演がある。

「やっぱり文楽はやめられない！」



最近の活動風景

演目ゆかりの地見こあるき



「石上神宮」



「大神神社 一の鳥居」



「今西酒造」



「住吉大社」

文楽の催し



「浜屋敷でぶんらく」



あべのハルカス
「まなぼスタジオ」



解説風景



文楽デー



文楽応援団 東西と一ざい



- * 阪急百貨店うめだ本店「祝祭広場」で4月公演 PR イベントがありました。
- * 竹本座跡石碑がリニューアルされました。
- * 第一回中日文楽が開催されました。
- * 7月10日(水)文楽ミニ公演 in 日本民家集落博物館が行われました。
- * 7月11日(木)大阪国際空港 文楽ミニ公演「エアポート文楽001便」が行われました。
- * 7月12日(金)クリスタ長堀で「夏休み特別公演」PRが行われました。
- * 7月17日(水)高津宮(大阪府中央区高津)で成功祈願が行われました。
- * 初代竹本義太夫三百回忌法要が8月28日(水)四天王寺で行われます。
- * 文楽応援団 HP 来訪者が 29,687 人、文楽応援団 ツイッターのフォロワーが 802 人になりました。(2013.07.11 現在)
- * 次回公演
東京公演: 9月7日(土) ~ 9月23日(月・祝)
大阪公演: 11月2日(土) ~ 11月24日(日)
※11月13日(水)は休演



阪急百貨店イベント 2013.03.16



リニューアルされた
竹本座跡石碑

From Outlaws to Ogres

Almost all bunraku plays are inspired by real people or events, but it seems that the further back in history the playwright reaches, the more extravagantly historical truth is altered onstage. Traditional plays involving Minamoto Raiko are a case in point, as the stories associated with him in bunraku, kabuki and noh tend to involve spectacular demons.

The real Raiko (948 -1021, a.k.a. Yorimitsu) was an aristocratic warrior assigned by the Emperor in Kyoto to clear the capital and its environs of the bandits who preyed on innocent citizens. These bandits hid out in the hills in what is now Tamba, then considered to mark the boundary between civilization and the wilderness. Such boundary spaces between two worlds are infused in all cultures' folklore with unearthly power and are believed to be infested with a variety of magical and ghostly creatures. So it was with the Tamba hills and the outlaws Raiko hunted there. Supernatural legends became attached not only to the outlaws, but also to Raiko and his men, who included Watanabe Tsuna, demon-hunter in *Modoribashi* and other plays, and Sakata Kintoki, original of the superbaby who trounces the spider in *Kintaro Ogumo Taiji*.

In fact it was the adult Kintoki who first appeared with Raiko in the *Konjaku* tale collection (c. 1120), but thereafter a miraculous super-childhood was added to his myth until the baby became his most common form.

The human outlaws hunted by the real Raiko and his sidekicks were also transformed into ferocious ogres, sorcerers and cannibals. These range from the horrible spider monster, also featured in kabuki and noh *Tsuchigumo*, to the demon Ibaraki, who wanders the nights in search of her severed arm. Perhaps in Raiko's day she was just a pickpocket. But superheroes need supervillains onstage, where over the ages the human imagination has repeatedly enacted the battle between good and evil.

Faith Bach
Earphone Guide



きんたろう おお たいじ
『金太郎の大ぐも退治』

- 1/ 3 新春公演初日。鏡開き。展示室解説、演目解説など、24日まで。
応援団通信23号、3,000部発行。
- 2/ 6 応援団HP編集会議。出席:4名。
- 2/ 9 スタッフ会議。出席:7名。
- 2/15 応援団HP用「演目ゆかりの地見てあるき」坐摩神社。参加:2名。
第1回研修会前日準備。世話人:齋藤、安藤。
- 2/16 第1回研修会。出席:41名。新春公演総括、新団員紹介。
学習会「私の日常生活あれこれ」講師:二神。
今期スタッフ:荒木、今井、馬越、大野、岡持、長、榊田、羽田、丸山、目黒、森木、安藤。
HP委員:榊田、荒木、内田、折井、木村、斉藤、杉本、竹村、立川、目黒、山本、安藤。
応援団通信編集委員:荒木、折井、安藤。
- 2/20 「演目ゆかりの地見てあるき」安養寺。参加:8名。
- 2/24 「演目ゆかりの地見てあるき」橋づくし。参加:7名。
- 3/ 1 第1回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 3/ 6 「演目ゆかりの地見てあるき」野崎観音・野中寺。参加:4名。
- 3/ 9 スタッフ会議。出席:9名。
- 3/15 応援団HP編集会議。出席:4名。
社会福祉協議会へ、ボランティア保険加入手続き、61名分申請。
第2回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 3/16 第2回研修会。出席:40名。4月公演演目説明、見所解説。担当:藤田。
解説日程調整など。学習会「文楽応援団HP」を見る。講師:立川。
- 3/22 第2回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 3/25 応援団HP編集会議。出席:5名。
- 4/ 5 応援団活動写真Ⅱ初作成Ⅰ。担当:荒木、安藤。
- 4/ 5 応援団活動写真Ⅱ初作成Ⅱ。担当:荒木、安藤。
- 4/ 6 4月公演初日。応援団登録証伝達式。櫻井支配人より授与される。出席:46名。
展示室解説、演目説明など29日まで。
- 4/15 解説依頼「大阪あそ歩」より解説依頼20名。担当:荒木、長、斉藤。
- 4/22 解説依頼「エクレール倶楽部」より解説依頼20名。担当:荒木、岡持、斉藤。
- 4/25 PHP研究所月刊「歴史街道」より取材。担当:安藤。
- 4/27 解説依頼「エクレール倶楽部」より解説依頼20名。担当:大野、折井、羽田。
- 5/10 大阪日日新聞に応援団解説風景が掲載。
- 5/11 スタッフ会議。出席:10名。
応援団通信23号第1回編集会議。出席:3名。
- 5/17 第3回研修会前日準備。世話人:安藤。
- 5/18 第3回研修会。出席:39名。
4月公演総括。学習会「妹背山婦女庭訓四段目」途中まで皆で朗読。
- 5/24 応援団HP編集会議。出席:4名。
- 5/26 「演目ゆかりの地見てあるき」苧環塚・石上神宮・今西酒造など。参加8名。
- 5/28 第3回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 6/ 6 PHP研究所月刊「歴史街道」発行。文楽を広報。
- 6/12 解説依頼「大阪あそ歩」より17名。担当:折井、柴多。
- 6/15 「第4回文楽デー」前日準備。世話人:今井、馬越、大野、岡持、齋藤、藤田、松井、目黒、山本、安藤。
- 6/16 大阪市主催「第9回文楽デー」にスタッフとして参加。
世話人:荒木、今井、馬越、大野、岡持、長、北、榊田、柴多、立川、藤田、松井、丸山、目黒、安藤。
- 6/18 応援団通信23号第2回編集会議。出席:3名。
- 6/28 応援団通信23号第3回編集会議。出席:2名。
- 6/29 スタッフ会議。出席:11名。
「演目ゆかりの地見てあるき」高津宮・長町裏・住吉大社。参加:5名。
- 7/ 2 公益財団法人地球環境センター(GEO)より解説依頼17名。担当:長田、折井。
- 7/ 4 応援団通信23号第4回編集会議。出席:2名。
- 7/ 5 応援団HP委員会。出席:5名。
- 7/11 応援団通信23号第5回編集会議。出席:2名。
- 7/13 第4回研修会。
夏休み公演日程調整、演目説明など。担当:藤田。
学習会「妹背山婦女庭訓四段目」途中から皆で朗読。
- 7/16 応援団活動写真Ⅱ初作成Ⅰ。担当:荒木、安藤。
- 7/19 応援団活動写真Ⅱ初作成Ⅱ。担当:荒木、安藤。
第4回研修会報告書発送事務作業。世話人:松井、安藤。
- 7/20 夏休み特別公演初日。展示室解説、演目解説など、8月5日まで。
応援団通信23号3,000部発行予定。

文楽公演

平成25年10月 **地方公演スケジュール** 【主催】文楽協会 【後援】文化庁

ユネスコ無形文化遺産、人形浄瑠璃文楽。

演目【昼の部】「解説」『しょううつしあさがおぼなし生写朝顔話』

【夜の部】「解説」『はなくらべしきのことぶき花競四季寿』 「ばんねい万歳」 「あらい鶯娘」 『せいすいきひらかな盛衰記』

地方公演チケットお問い合わせ先

9月28日(土)	河内長野市立文化会館ラブリールホール	0721-56-6100	10月7日(月)	京都府立文化芸術会館	075-222-1046
10月1日(火)	(仙台市)電力ホール	022-227-2715	9日(水)	(新潟市)りゅうとびあ	025-224-5521
3日(木)	名古屋市芸術創造センター	052-249-9387	11日(金)	千葉市文化センター(アートホール)	043-247-8430
4日(金)	名古屋市芸術創造センター	052-249-9387	12日(土)	府中の森芸術劇場(ふるさとホール)	042-333-9999
5日(土)	本巢市民文化ホール	058-323-5373	13日(日)	(静岡市)グランシップ(中ホール・大地)	054-289-9000
6日(日)	岡崎市せきれいホール	0564-25-0511	14日(月・祝)	神奈川県立青少年センター	045-662-8866

文楽応援団通信 第23号 2013年7月20日

編集・発行 文楽応援団 (年2回発行予定)

連絡先 〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10

国立文楽劇場 事業推進課

TEL 06-6212-2531(代) FAX 06-6212-1202